



海・里・山・歴史と文化にあふれるまち、久美浜。写真は兜山展望台から望む久美浜湾と小天橋。



「こだわり」の提供がサービスだと考える宿の集まり「百珍の宿」。写真は玄関に掲げる目印の旗。



京の味めぐらべ展に参加し、久美浜百珍の紹介活動を実施。

●事例の概要

○地域資源の有効活用、地域商業全体の将来像を検討する中で地域の魅力を町内外の多く人と共有し、育てていく団体として「久美浜百珍の会」が設立された。

○会員の各々が自分の「やりたい活動」に参加しながら、きめ細かな運動を開催し、外への情報発信、交流に努めている。

○「久美浜百珍」のコンセプトの下、久美浜の産業を「百珍」という切り口で連携することで、より厚みのある地域経済システムの構築につなげようとしており、こうした地域全体での運動が地域住民に誇りと生甲斐を与え始めている。

○評価のポイント

平成16年4月1日に丹後地域の6町が合併して誕生した京丹後市にあって、旧久美浜町は京都府北部の丹後半島の最西北端に位置し、北は日本海、残り三方を山に囲まれた豊かな自然に恵まれた地域であるが、高齢化による離農に加え、地場産業の「丹後ちりめん」をはじめとする織物業の不況や産業立地の遅れから、深刻な過疎化が進んでいる。

「久美浜百珍づくり運動」とは、現在・過去・未来の地域の魅力を、「自分たちの自慢の種=久美浜百珍」とし、町内外の多くの人々と共有することにより、町のみんなの「自信と誇り」を育み、産業の活性化、種々な交流・文化を育成していく運動であり、この運動を地道に実践する団体として平成11年12月に「久美浜百珍の会」が設立された。

各宿の個性づくりと共同戦略による誘客を進める旅館・民宿部会や”久美浜自慢の種”を「久美浜百珍」（現在の認定数：67）に認

定する認定部会、「久美浜の良さを22世紀へ語り継ぐ」紙芝居部会など会員の各々が自分の「やりたい活動」に参加しながらきめ細かな運動を展開し、ホームページを活用するなど、外への情報発信、交流に努めている。

「久美浜百珍」のコンセプトの下、久美浜の産業を「百珍」という切り口で一体的に連携させ、厚みのある地域経済システムの構築につなげようとしている。また、「百珍」の発掘・再発見に地域全体で取り組むことを通じ、自ら考え行動する地域住民に自信と誇りが芽生えつつある。

このように「久美浜百珍運動」は、全体的に連携しうる大枠での基本的なコンセプトを定め、そのコンセプトの下、各団体・個人それぞれが自らの意志で活動を展開、活動結果が一体のものとなり、相乗効果をもたらすまちづくり方式のモデルとなるものであるとして評価された。



久美浜の良さを22世紀に語り継ぐ
コミュニケーションツール、紙芝居。
町内に伝承する民話が題材。



久美浜にある山野草「自然野菜」の調理方法、
活用方策を探る農産物活用部会の会員。

キヨウタンゴシ 京都府 京丹後市(旧久美浜町)



国勢調査人口

	昭和35年	昭和45年	平成2年	平成7年	平成12年
京丹後市	80,106	75,187	69,085	67,208	65,578
旧久美浜町	16,915	14,024	12,821	12,338	11,857

人口増減率

	H12/S35	H12/S45	H7/H2	H12/H7
京丹後市	△18.1	△12.8	△2.7	△2.4
旧久美浜町	△29.9	△15.5	△3.8	△3.9

高齢者・若年者比率(12年)

	高齢者 比率	京丹後市	25.3
高齢者 比率	旧久美浜町	30.2	
	若年者 比率	京丹後市	13.7
若年者 比率	旧久美浜町	12.8	

交通のご案内

自動車	京都縦貫自動車道綾部宮津道路宮津天橋立ICから国道176～312号経由70分舞鶴若狭自動車道福知山ICから国道9～426～482号経由70分	名 称 久美浜百珍の会 所 在 地 〒629-3404 京都府京丹後市久美浜町847番地 電 話 TEL (0772) 82-0155 FAX番号 FAX (0772) 82-1755 U R L http://100chin.kyoto-fsci.or.jp/
鉄 道	JR豊岡駅(福知山線)～KTR(北近畿タンゴ鉄道)15分～KTR久美浜駅北近畿タンゴ鉄道宮津線久美浜駅から徒歩5分	
飛行機	但馬空港から自動車20分	